

🎂🎁🎈🎉🎊🎋🎌🎍🎎🎏🎐🎑🎒🎓🎔🎕🎖🎗🎘🎙🎚🎛🎜🎝🎞🎟🎠🎡🎢🎣🎤🎥🎦🎧🎨🎩🎪🎫🎬🎭🎮🎯🎰🎱🎲🎳🎴🎵🎶🎷🎸🎹🎺🎻🎼🎽🎾🎿🏀🏆🏈🏉🏊🏋🏌🏍🏎🏏🏐🏑🏒🏓🏔🏕🏖🏗🏘🏙🏚🏛🏜🏝🏞🏟🏠🏡🏢🏣🏤🏥🏦🏧🏨🏩🏪🏫🏬🏭🏮🏯🏰🏱🏲🏳🏴🏵🏶🏷🏸🏹🏺🏻🏼🏽🏾🏿🏿🏿
交流会

12月・3月の交流会では、たくさんの保護者&子どもが参加しにぎやかな交流会となりました。いつも学習をがんばっている子どもたちもこの日は、保護者、スタッフ、ゲストの方々などと一緒に楽しいひと時を過ごしました。誕生日会後の保護者との懇談では、毎回様々なトピック（ゆめの木教室での学習、母語と日本語の使い分け、家庭学習、進路、将来の夢など）で話し合いが行われます。普段、スタッフと保護者間でなかなか話す時間をもつことができないので、ゆっくり話すことのできる良い機会となっています。また、保護者にとっても貴重な情報交換の場となっていると思います。

子ども王国 だより

2014年6月発行 Vol.30



保護者との懇談 「子どもたちの将来について」

保護者1：日本の公立中学校は、生徒指導が厳しく、みんな同じでなければいけないという指導である。個性が出せず押さえつけられているように思う。

保護者2：日本人はコミュニケーション力が弱いと思う。日本の学校の教育方針がそのような人にしてしまうのではないか。外国人は分かりたいという気持ちが強いので分からないことはそのままにできない。日本人は分からなくても「はい。」と言うことが多い。

保護者3：保護者はいくら仕事や家事が忙しくても、子どもの学習をみることは義務だと思う。教えることができなくても、宿題の確認をしたり、学習したことを褒めたりすることはできる。

スタッフ1：ゆめの木は日本語を伸ばす場所でありたい。間違った日本語を話しても、スタッフが正しい日本語を教え、ゆめの木で日本語を話すことで少しずつ日本語力をつけていけばいい。

ゲスト：将来の職業について家庭でも話す機会があるといい。例えば、服をつくるにはどのような過程があり、どのような職業があるか考えてみることは大切。デザイナーはクリエイティブな職業だし、服をつくる仕事や服を売る仕事、商品の広告など、服に関する職業は多々ある。一つの物からいろいろ広げて見てみるといい。世の中にあるもので何に興味があるのか考えることが重要。子どもの才能や得意なことを伸ばしてあげられるといい。自分の子どもは何が得意なのか、自分の子どもの才能を見つけて職業につなげてあげられるといい。

保護者2：家庭でできる支援をしながら、子ども一人ひとりにあった将来を考えてあげたいと思う。



- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」
小中学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時
- 青少年の健全育成のための事業
問題を抱えた子どもとその家族に対し
随時相談・援助を行なう
- 青少年の自立支援事業「そら」
水曜日：午後6時30分～8時30分
- 交流会 年4回開催





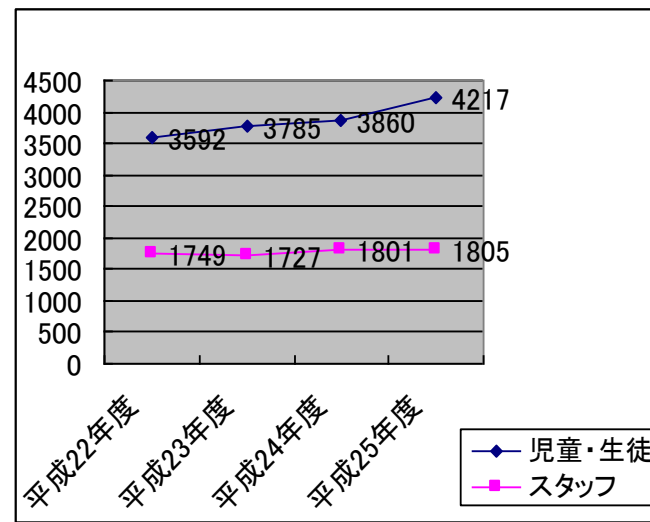
ゆめの木教室



放課後学習支援事業「ゆめの木教室」事業に関する総括

- 学習面では、常に日本語での会話を意識しながら、学校の宿題と「ゆめの木教室」の課題に取り組み、毎月1回「ゆめの木漢字検定試験」を行った。
- 児童・生徒の参加者数は、図1に示す通り増加しているが、スタッフ数は伸びていない。限られたスタッフ数で学習支援に取り組んだ。
- 静かな環境で集中して学習させるために、机の配置等を工夫したり、集会所内のルールを再確認したりしながら、学習支援を実施した。

児童・生徒とスタッフ数の推移 図1



「ゆめの木教室」卒業生

平成25年度、「ゆめの木教室」から、小学6年生3名、中学生3年生2名、高校生1名そして大学生スタッフ3名がそれぞれの学校を卒業しました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

努力すれば成功するとか言うけど、マイケル・ジョーダンの「努力すれば必ず成功するとは限らない。だが、成功した者は必ず努力している。」という名言を残した。



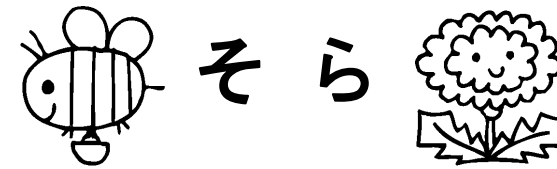
部活をがんばる。態度を変える！！



私がかんばっていききたい事は、日本語の勉強をがんばることです。そのために、力いっぱいがんばって自分の道を少しずつ作っていききたいです。



私がかんばりたいことは、宿題を忘れないことと部活をがんばって中学生を送りたいです。



青少年自立支援事業「そら」報告(一部抜粋)

「そら」子育て相談

最近の「そら」は、子育て奮闘中の若いパパ・ママが多くやってきます。「そら」での会話も自然と子育て関連の話題が多くできるようになりました。

- 子どもの病気、予防接種、夜泣き、家庭内の言語事情、小学校入学準備などのトピックで話し合いをしました。育児経験豊富なスタッフが青少年の育児に関する疑問や悩みを聞き、アドバイスをしています。
- 「そら」に来ている青少年の子どもたち3人が小学校に入学します。入学する前にたくさん絵本を読んで聞かせることを薦めました。
- 独りで子育てをがんばっているMさん、息子のSくんも素直に育ち4歳になりました。こども園の年中さんです。仕事も少し落ち着いてきたので、自分がやりたいことを探しているとの近況報告でした。



「そら」の若いパパ&ママ、子育てがんばってくださいね。



ブラジルからの訪問客

以前「ゆめの木教室」で学習していたB姉妹が遊びに来てくれました。二人とも立派なお姉さんに成長していました。明るくて元気なB姉妹がいると「ゆめの木教室」はいつも以上にぎやかです。低学年の子どもたちの学習をみってくれたり、一緒に遊んでくれたりしました。また、元気な二人に会えるのを楽しみにしています。



「そら」家庭訪問

難しい問題を抱えている青少年の中には、さまざまな理由から「そら」の時間帯に集会場へ来ることができないケースがあります。そのようなケースにも対応するため、「そら」スタッフを2つの班に分け、家庭訪問ができる体制作りを考えています。



今年度の「そら」活動

- このごろ毎晩のように広場で青少年が集まり、スケボーをやったり話したりして時間を過ごしています。今夜の「そら」の時間は、その青少年たちと一緒に座り込み、時間を共に過ごしました。主な話題は、中学校での出来事、成績、スケボーの話、高校進学についてなどでした。初めは突然現れた「そら」スタッフに対し「なんでここに居るの?」と言っていた青少年でしたが、すぐに慣れている話をする事ができました。
- 先週に引き続き今夜も2ヶ所の青少年のたまり場に行きました。8人の青少年たちと座り込んで話をしました。この寒い夜に家には帰らず、こうして友達と関わることで、青少年は何を得て、何を確かしているのでしょうか。改めて考えさせられてしまいました。ただ、数年前と大きく違うことは、この青少年たちは所属する場所をもち、尚且つ「おれ、高校に行くよ。あたりまえじゃん。定時制か通信に行く。」と言うことです。青少年ほぼ全員が、高校に進学したいと思っています。この意識の変化は凄いことだと感じました。

